

バレット食道の長さと発癌リスクに関する全国多施設後ろ向き研究

1. 研究の対象

2013年1月1日から2017年12月31日の間の1年間に全国の下記の健診施設で健診目的で内視鏡検査を受け、その後、少なくとも1回の内視鏡検査を受けたすべての症例、約60000人（本学6000人）を対象とします。

2. 研究目的・方法

食道腺癌は欧米を中心に急速に増加しており、日本でも増加の兆しがみられるようになっていきます。バレット食道は食道腺癌の主要な発生源と考えられていますが、日本では対策が進んでいません。

バレット食道の長さ(バレット長)はバレット食道発癌関連因子であると報告されていることから、バレット長による発がん率の層別化が図れば有用性が高いと考えられます。本研究は全国の健診施設による研究で、保存されていたデータを後ろ向きに解析し、バレット食道の長さごとの発がん率を明らかにすることを目的としています。

研究に参加する全国の各施設における上部内視鏡検診画像を後方視的に検討します。検診の上部内視鏡検査でバレット食道の診断となった症例を対象とし、観察期間中の発癌の有無を確認します。

研究実施期間：研究実施許可日～2029年3月31日

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：バレット食道が認められた症例の年齢、性別、バレット長等の上部内視鏡画像検査所見、等

4. 外部への試料・情報の提供

本学へのデータの提供は、特定の関係者以外がアクセスできない状態で行います。対照表は、本学の研究代表者が保管・管理します。

5. 研究組織

秋田大学医学部附属病院・飯島克則（研究代表者）、NTT東日本札幌病院・松本美桜、由利組合病院・高橋壮、大曲厚生医療センター・、宮城県対がん協会・浅沼清孝、山形済生病

院・今孝志、亀田総合病院附属幕張クリニック・渡邊義敬、相澤病院・岩谷勇吾、昭和伊南総合病院・堀内朗、川崎医科大学総合医療センター・眞部紀明、島根県環境保健公社 総合健診センター・足立経一、人間ドックセンターウェルネス ウィメンズウェルネス天神クリニック・吉村理江、原三信病院・原口和大

6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

〒010-8543 秋田市本道1丁目1-1

秋田大学大学院医学系研究科消化器内科学講座

TEL：018-884-6104 FAX：018-836-2611

連絡担当者：福田 翔

研究代表者：秋田大学大学院医学系研究科 消化器内科学・神経内科学講座

教授 飯島 克則

-----以上